

STAGE+を楽しむ(119)(HP 収載)

—ラノディエール音楽祭—

1. 始めに

前報(118)に引き続き、STAGE+のラノディエール音楽祭の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、ラノディエール音楽祭の演奏を選びました。

ネゼ＝ゼガンが描き出すドビュッシーとワーグナーの濃密な音世界

第45回ラノディエール音楽祭

収録日: 2022年8月6日

本映像は、第45回ラノディエール音楽祭で演奏されたドビュッシーとワーグナーの特別なプログラムをお楽しみ頂けます。まずはドビュッシーのオペラ「ペレアスとメリザンド」の管弦楽組曲で、ヤニック・ネゼ＝ゼガン率いるメトロポリタン管弦楽団の色彩豊かで洗練された響きをお楽しみ頂けます。その後にはワーグナーの「ワルキューレ」の演奏会形式による上演が続きます。クリスティーヌ・ゲルケをはじめとするワーグナーのスペシャリストたちのスケールの大きな歌唱をご堪能下さい。

ソリスト:

Christine Goerke (ソプラノ)、Brandon Jovanovich (テノール)、フランツ＝ヨゼフ・ゼーリヒ (バス)

演奏:

モントリオール・メトロポリタン管弦楽団

指揮:

ヤニック・ネゼ＝ゼガン

曲目:

クロード・ドビュッシー 《ペレアスとメリザンド》組曲 (ラインスドルフ編曲)

リヒャルト・ワーグナー 《ワルキューレ》第1幕



### 3. 試聴の経過

前回に引き続き、スピーカーアキュライザーの位置を変更し、スピーカーアキュライザーからのバイワイアリングケーブルにケーブルチューナーを装着し、ルーター→スイッチングハブ→PCの2本のLANケーブルにLANアキュライザーを使用しています。さらに、スイッチングハブに光城精工の仮想アース Crstal EpL を接続し、ルーターに自作の仮想アースを接続しています。

ラノディエール音楽祭というのは初めてですが、カナダのラノディエールで開催される野外コンサートのようなようです。映像でも野外に夜間で開催されていることが分ります。

ドビュッシーの《ペリアスとメリザンド》組曲は、お馴染みの曲です。野外劇場のせいで音はあまりよくありませんが、ドビュッシーらしさが表現されています。

ワーグナーの《ワルキューレ》第1幕は、演奏会形式の演奏です。野外劇場の収録で全般に音はあまりよくありませんが、冒頭の低弦の斉奏やティンパニの連打はリアルですし、ソリストの歌唱はよく通っています。セガンの熱の入った指揮とソリストの圧倒的な歌唱力で盛り上がっていきます。



#### 4. まとめ

LAN アクキュライザーと Crstal EpL の効果により、野外劇場のせいで音はあまりよくありませんが、セガンの熱の入った指揮でドビュッシーらしさ、ワーグナーらしさは伝わってきます。

以上

